

春が訪れたように暖かったお正月から一転、真冬らしい気候になりました。寒さに負けず、季節の趣を楽しみながら過ごしたいものですね。

いよいよ3学期がスタートしました。新年は自分をリセットし、清々しい気持ちで物事を始めるチャンスです。心を引き締めてスタートし、実りある素晴らしい1年にしましょう。

3年生はいよいよ巣立ちの年です。就職、進学に向けての具体的な準備も始まります。手続き等は確実に行ってください。また、残りわずかな高校生活の充実も重要です。全員が笑って卒業式を迎えられるよう最後まで頑張りましょう。

2年生の3学期は「高校3年生の0（ゼロ）学期」とも言われ、進路実現に向けての準備期間として重要な時期となります。真剣に自分の進路について考え、受験先について調べ始めてほしいものです。何事もスタートが肝心です。

1年生は進級する系も決まり、本格的に系列の工業技術基礎も始まります。また、この3学期の取組まで含めた、高校で初めての「評定」が出されます。将来の進路選択に大きく関わってきますので、良い成績をあげられるよう常に意識してしっかり取り組んでください。

指示待ち社員・・・新入社員として一步を踏み出す3年生へ

ここ数年の新入社員の特徴として、『指示待ち社員』が増えていると言われます。上司が事細かな仕事の指示をしないと動けない社員のことです。

上司は新入社員に対して、組織の一員として自ら最大限の力を発揮することを期待しているため、ジレンマのある課題となっています。

経験や年代の違いから、新入社員に対して『こんなこともわからないのか』また、『どうせ指示しても理解できないだろう』などという一方的な思惑により、主従の円滑な人間関係が阻害されてしまうケースもあるようです。

しかし、『指示待ちが悪い』と一方的に決めつけてしまう前に、確認すべき事項もあります。たとえば、『両者の間に、仕事の方針や作業手順が共通に認識されているか』などがあるでしょう。

さらに、新入社員としても、上司への行き過ぎた遠慮は排しましょう。必要なことは聞く、発言すべき時は発言するなど、日々の積極的な姿勢が、仕事を追う『気』を養ってくれるはずですよ。

新入社員としてスタートする皆さん意思を確認しましょう。



進路に関する勘違いしていませんか？

◎推薦入試なら全員合格？

本校の卒業生は、ほとんどの場合学校推薦で就職や進学をしています。推薦で受験する場合、長い時間をかけて先輩達が作り上げてきた『鹿児島工業』というブランドを生かすことができるので有利に受験できることに間違いありません。しかし受験はできても、皆さんが企業や学校が求める基準に達していなければ、もちろん不合格になります。

◎倍率が低ければ合格しやすい？

たとえば10人の募集に対して8人しか受験しなければ倍率は0.8倍です。このように倍率が1倍以下だと全員合格かという、そんなことはありません。実際に過去のデータを見てみると受験者が定員に達しなくても不合格になったケースは多くあります。また、倍率が低くても、有名企業の技術職や国立大、人気私立大などでは、各高校のトップクラスの生徒が受験しますので少数精鋭の厳しい勝負になります。逆に併願可能な学校などでは、見かけの倍率が高くても多めに合格者を出すので難しくありません。



◎面接だけ頑張れば合格？

就職試験でも進学試験における推薦入試でも面接が重視されるのは間違いありません。しかし、調査書（評定、取得した資格、部活動、出欠など）、適性試験や学力試験などと組み合わせて総合的

に合格が決まる場合が殆どです。と言うことは、普段の頑張りも大事です。特に2年生は自分が受験したい企業や学校ではどのような試験が行われているか、早めに調べておきましょう。

◎勉強したくないから就職？働きたくないから進学？

就職しても仕事をしていくためには、新しい技術はもちろん、社会人としてのマナーなど様々なことを学ばなければいけません。そのためには、日々勉強は必要です。そのための基礎を身に付けていくのが今の皆さんの時期です。進学しても、数年後には必ず社会に出て働かなければなりません。目的も持たずに進学しても就職もできず後悔することになります。大事なことは自分はどうのように生きていくのか、そのためにこれから何をすべきか。しっかりと考えてから決断することです。



学力の定着には自宅学習の習慣が必要！

『継続は力なり』この言葉は誰でもよく知っている言葉です。「一つ一つの効果は微々たるものであっても、たゆまず努力を続けていれば、やがては一つの大きな事業を達成できる。」または、「物事を成し遂げるまで諦めずに努力し続けることが一つの力、能力である。」と解釈されます。

学生における『継続は力なり』はどのようなものでしょうか。どの高校でも文武両道を目指していると思います。本校においても教科の学習、資格取得の学習、部活動とそれぞれ頑張っています。



その中で、部活動は放課後ほぼ毎日練習が行われており、まさに『継続は力なり』で、習慣化され、技術面と精神面で生徒の成長に大きく貢献していると思います。

しかし、自宅での学習については「やったりやらなかったり」となってしまう傾向にあります。高校生の学習支援を行っている講話を聞いた時「努力は習慣」、勉強を「やったりやらなかったり」ではいつまでたっても「勉強＝努力」になる。毎日同じ時間に学習すれば「努力でなく習慣」となり、「習慣化された学習ほど大きな成果を上げるものはない。」ということを言われました。

学校から帰宅後の限られた時間を、いかに過ごすかをもう一度見直す必要はありませんか？自分の進路実現につなげていきましょう。



受験報告書より～後輩へのメッセージ～

今年度の民間就職の受験報告書から、反省や後輩へのメッセージを紹介します。

◎一般常識・適性検査に関して

- ・SPIへの対策を重視した方がよい。試験では数多くの問題を正確に解く必要があります。(M系 生産技術職)
- ・時事問題が出題されるので、新聞やテレビのニュース番組等を見てい로운な情報を集めておいた方がよい。(E系 技術職)
- ・一般常識が難しかった。学校で渡された問題集をしっかりと勉強してください。(C系 技術職)
- ・クレペリン検査は、100マス計算で練習をしておいた方がよい。検査中は何も考えず集中すること。(In系 生産関係職)



◎面接に関して

- ・面接は、たくさん練習すればするほど、本番で緊張せずに自己アピールができます。(M系 製造・技術・検査)
- ・面接は、会話形式でリラックスして答えることができた。事業内容と自分がどの部署で働きたいか？を詳しく聞かれました。(E系 技術職)
- ・面接では、志望動機や学校生活で頑張ったこと等、学校生活のことを中心に詳しく質問されました。面接では元気よくハキハキと答えるのが大切です。(K系 製造職)
- ・グループディスカッションでは、人の意見をよく聞き、自分の意見をはっきりと相手に伝えるようにする。学校での事前練習が大事です。(A系 施工管理)
- ・日頃の言葉遣いに気を付けた方がいいと思う。(S系 技術職)